見本

［はじめに］

## フォントは日本語はMS明朝体、英語と数字はCenturyで半角 マージン上下3.0cm、左右2.0cm 2枚目は左上隅より2段組みで印字

ループス腎炎における血清補体蛋白の解析

補体 一郎 1)、補体 花子 1)、○○ ○○2)、・・・、補体 次郎 2)

1)補体大学大学院医学系研究科 免疫学、2)補体大学附属病院 内科学

Analysis of serum complement components in patients with lupus nephritis. Ichiro Hotai1), Hanako Hotai1), ○○ ○○2),・・・and Jiro Hotai1)

1) Immunology, Complement University Graduate School of Medicine,

2) Internal Medicine, Complement University Hospital

## 14pt

１行あける

10pt

１行あける 10pt

行間1行

１行あける 10pt

ループス腎炎は活動性によって、血中補体価が低

［考察］

## 行間1行

下する。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○1)。

［方法］

補体大学附属病院に通院中のループス腎炎患者の血清を 5 年間集めて、ELISA で C3、C4 の測定を行っ た 2) 。 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○。

［結果］

活動性の高いループス腎炎患者において、○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○（図 1）。○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○。

［結論］

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

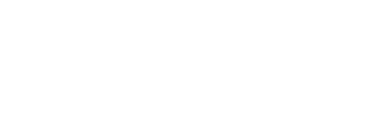
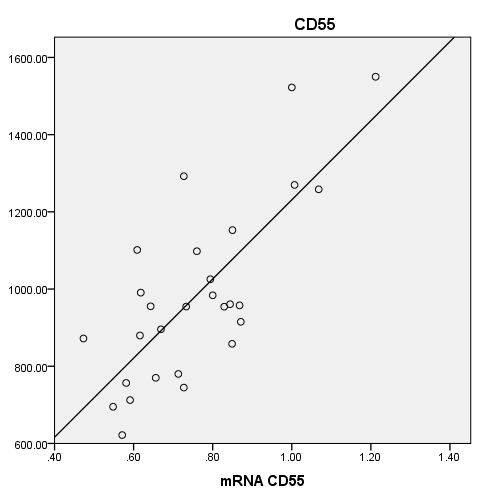
○○○○○。

［文献］

* 1. Saburo Hotai. et al. *J. Immunol.* 990:8403 (2029)

2) 補体五郎 他、医療経済、789、144:400 (2000)

3) ○○○○○○○○○○○○.



p=0.0001,R2=0.574

**図 1 CD55 の発現および mRNA の産生**